

地域連携戦略室主催事業

- 令和2年度 タウンミーティング (第17回)

地域連携戦略室主催事業

- 令和2年度 地域交流シンポジウム (第17回)

サテライトオフィスの取組事業

- 那賀町地域再生塾
- 上勝学舎
- 美波町地域づくりセンター
- にしあわ学舎
- 神山学舎

徳島大学・明治大学・徳島県連携事業

まちしごとファクトリー

ガレリア新蔵活動報告

2020

地域連携事業成果報告書

COCプラス推進本部事業

- とくしま元気印イノベーション人材育成プログラム

地域連携の取組

- 総合科学部
- 医学部
- 歯学部
- 理工学部
- 生物資源産業学部
- 病院
- 人と地域共創センター
- 情報センター
- 高等教育研究センター学修支援部門国際教育推進班 (インターナショナルオフィス)
- 大学産業院
- 研究支援・産官学連携センター
- 環境防災研究センター
- 先端酵素学研究所
- 附属図書館
- ポストLEDフォトンクス研究所
- 研究・産学連携部地域産業創生事業推進課
- AWAサポートセンター
- バイオイノベーション研究所

■タウンミーティングおよび地域交流シンポジウムは、大学と地域の連携活動を広く周知するとともに、地域での新たな課題解決に向けた活動へのきっかけづくりを目的に開催。
 ■平成16年度から毎年度開催し、参加者は延べ4千人を超えている。

令和2年度 タウンミーティング (第17回)

注目地域に学ぶ! 地域活動は持続するか!
 ~阿波市リーダー育成塾を介した未来の地域の人・空間・仕事づくり~

開催主旨

■注目地域の現在の活動や、地域活動の持続にむけた知恵を相互に学ぶとともに、地域間の“人のつながり”づくりを目的として開催。

開催日: 令和3年2月27日(土)
 場所: 徳島大学フューチャーセンター A.BA
 オンライン同時開催 (Zoom 使用)
 主催: 徳島大学人と地域共創センター
 共催: 阿波市
 協力: 阿波市リーダー育成塾、NPO 法人加茂谷元気なまちづくり会、かみかつ棚田未来づくり協議会、NPO 法人あわ・みらい創生社、こまつしま漁と農ゆめ会議、GOTTSO 阿波

内容

- テーマ「注目地域から学ぶ!」
- 「加茂谷の活動」
NPO 法人 加茂谷元気なまちづくり会 理事長 山下 和久
 - 「上勝の活動」
かみかつ棚田未来づくり協議会 プロデュース担当 大山 沙代美
 - 「阿波市の活動 (1)」
NPO 法人 あわ・みらい創生社 理事長 井原 まゆみ
 - 「和田島の活動」
こまつしま漁と農ゆめ会議 会長 鳴滝 貴美子
 - 「阿波市の活動 (2)」
GOTTSO 阿波 相談役 武澤 豪
- [コメンテーター]
 徳島大学人と地域共創センター協力員、阿南工業高等専門学校 研究員 坂本 真理子
 (一社) CS 阿波再生まちづくり 代表 松本 真樹

タウンミーティングは、本学が徳島県内市町村の有する課題を取り上げ、その解決に向けた地域と大学の相互対話により、取組について協議することを目的とするもので、地域貢献事業の一環として毎年県内各地で開催しており、今回で17回目となった。

今年度は、阿波市が本学の澤田 俊明客員教授と連携し、2016年度から脳の資源の活用や未来の人材を育成するために開催している「阿波市リーダー育成塾」を取り上げ、2019・2020年度の育成塾で徳島県内の注目地域に学

ぶフィールドワークを行った地域の活動を、幅広く市民に知ってもらう機会をつくるとともに、地域間の“人のつながり”をつくることで、地域活動の持続に向けた知恵を相互に学び合うきっかけづくりを目的として、本タウンミーティングを開催した。

まず、NPO 法人加茂谷元気なまちづくり会の山下 和久氏から移住・定住の推進等の取組、かみかつ棚田未来づくり協議会の 大山 沙代美氏から棚田保全のためのビジネスの展開、NPO 法人 あわ・みらい創生社の井原 まゆみ氏から身近なところから始めるまちづくり、こまつしま漁と農ゆめ会議の鳴滝 貴美子氏からちりめん等の資源を活用した取組、GOTTSO の武澤 豪氏から特産品であるナスの販売・ブランド化戦略について、それぞれ話題提供があり、コメンテーターからのコメントのほか、参加者から質疑を通じて、地域活動について学び合う機会となった。



タウンミーティングの様子



チラシ

令和2年度 地域交流シンポジウム (第17回)

とくしまサイクルツーリズム・フォーラム
「サイクルツーリズムが紡ぐ 地域の活力」

開催主旨

■地域の風景・食・生活を肌で感じられる体験型観光の一つとして注目されるサイクルツーリズムについて、徳島ならではのサイクルツーリズムのモデル、組織、人材づくりを目的に開催。

開催日: 令和3年3月13日(土)
 場所: 徳島大学フューチャーセンター A.BA
 オンライン同時開催 (Zoom 使用)
 主催: 徳島大学人と地域共創センター

内容

1. キーノート
 コロナ禍のサイクル・ツーリズム なにから始めるか? 各地の取り組み、アイデアから
 (株) アーチ・ヒーロー北海道 高橋 幸博
2. フォーラム「とくしまの資源を活用した サイクルツーリズムにむけて」
 [話題提供]
 ●徳島県自転車活用推進計画について 徳島県高規格道路課
 ●鳴門市自転車活用推進計画について 鳴門市戦略企画課
 ●とくしま T ラインの活用に向けて 徳島大学 矢部 拓也 ほか
 [コメンテーター]
 ●鳴門市長 泉 理彦
 ●吉野川市長 原井 敬
 ●小松島市長 中山 俊雄
 ●三好市産業観光部 企画監 薄田 克彦
 ●(株) AWA-RE 榮 高志
 ●せとうちプレミアム (株) 河合 崇
 ●建設技術研究所 大脇 鉄也
3. フリーディスカッション

地域交流シンポジウムは、本学が地域社会の課題や要請に応えるための地域貢献事業の一環として実施しているもので、17回目となった。今回は、現地会場とオンラインの両方で同時開催し、計90名の参加があった。

自転車を活用したツーリズムは、健康で環境にやさしい体験型の新しいツーリズムとして期待されている。コロナ禍の中でも、世界では自転車の活用が活況を呈している。

徳島大学人と地域共創センターでは、サイクルツーリズムの担い手づくりを推進しており、今回は、北海道で際立ったモデルを展開する(株)アーチ・ヒーロー北海道の高橋 幸博氏をメインゲストに迎えて、徳島のサイクルツーリズムの展開を考えるシンポジウムを開催した。

シンポジウムではまず、メインゲストの高橋氏から、自身の経験を踏まえながら、地方でのサイクルツーリズムの可能性やサイクリングツアー等の事業を継続していくためのポイントについて基調講演があり、続いて、徳島県、鳴門市及び徳島大学の担当者からそれぞれが実施する自転車活用・サイクルツーリズムの推進事例の話題提供があり、徳島県内外の有識者、実践者等からコメントをいただいた。

その後、参加者を交えてフリーディスカッションを行い、皆で徳島のサイクルツーリズムについて考える機会となった。



シンポジウムの様子



チラシ